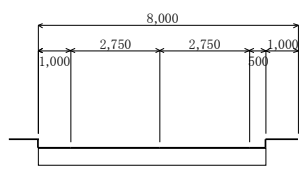
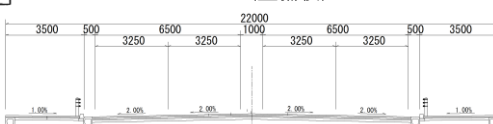


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課：長崎振興局道路建設課
担当課長名：松本 保智

事業名	一般国道499号（栄上拡幅） えいがみかくふく			事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県長崎市平山町 ながさきけんながさきしひらやままち 至：長崎県長崎市布巻町 ながさきけんながさきしめまきまち				延長	1.30km	
事業概要	一般国道499号（栄上拡幅）は4車線拡幅を行うことで交通容量不足による渋滞を解消し、地域をつなぐ道路ネットワークの強化を図る事業。						
H20年度事業化		都市計画決定 あり		H21年度用地着手		H22年度工事着手	
全体事業費		56.0億		事業進捗率		91% 供用済延長 1.12km	
計画交通量		12,574台/日（R22）					
費用対効果分析結果	B/C （事業全体） 1.03 （残事業） 2.50	総費用 （残事業）/（事業全体） 4.86/77.58億円 〔事業費：4.81/77.24億円 維持管理費：0.05/0.34億円〕	総便益 （残事業）/（事業全体） 12.14/79.65億円 〔走行時間短縮便益：11.16/73.99億円 走行費用減少便益：0.79/4.44億円 交通事故減少便益：0.19/1.22億円〕	基準年 令和6年度			
感度分析の結果		残事業について感度分析を実施					
【全体事業】交通量変動		B/C=0.92～1.13（交通量 ±10%）		【残事業】B/C=2.25～2.75（交通量 ±10%）		B/C=2.26～2.80（事業費 ±10%）	
事業費変動		B/C=1.02～1.03（事業費 ±10%）		B/C=2.26～2.80（事業費 ±10%）		B/C=2.58～2.58（事業期間±1年）	
事業期間変動		B/C=1.02～1.07（事業期間±1年）		B/C=2.58～2.58（事業期間±1年）			
事業の効果等		・渋滞解消による地域間の道路ネットワーク強化。 ・交通安全性の向上（歩道整備による歩行者及び自転車の安全確保） ・防災機能の向上（災害時の緊急輸送道路としての機能強化）					
関係する地方公共団体等の意見		「長崎市」および「一般国道499号道路整備促進協議会」から整備促進の要望が行われている。					
事業再評価監視委員会の意見		—					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等		—					
事業の進捗状況、残事業の内容等		令和5年度末までの事業進捗率は91%、用地進捗は92%であり、今年度も用地取得を継続して行い、令和8年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等		用地取得に関わる諸手続き等（土地管理者の時効取得）に日数を要しているが、地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き事業の進捗を図り、令和8年度の事業完成を目指す。					
施設の構造や工法の変更等		—					
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由		事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。					
事業概要図		位置図  標準断面図 (現況)  (整備後)  全体計画 					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

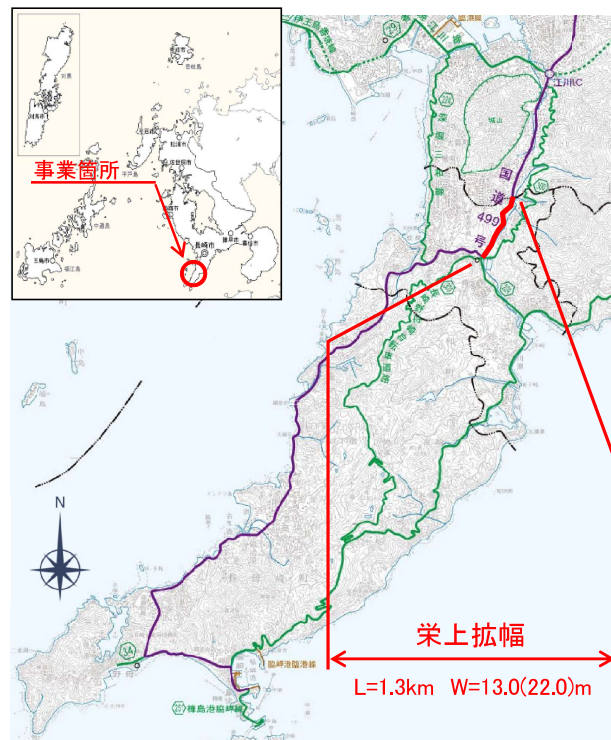
令和6年度 第1回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建-2 道路改築事業
一般国道499号
(栄上拡幅)

事業主体 長崎県

再評価
の理由 再評価後変更
(工期・事業費)



1

1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	備考
		着工	完了			
当初 (H19新規)	—	H20	H27	35.0	2.20	【工事概要】 延長1.3km 幅員13.0(22.0)m
第1回審議 (H29年度)	事業採択後 10年経過	H20	H32	39.0	1.26	【当初評価からの変更概要】 用地取得手続き難航による工期延長 軟弱地盤対策による事業費増額
第2回審議 (R1年度)	再評価後変更 (工期・事業費)	H20	R5	44.0	1.10	【前回評価からの変更概要】 用地取得手続き難航による工期延長 掘削部の岩質見直しによる事業費増額
第3回審議 (R4年度)	再評価後変更 (工期・事業費)	H20	R7	53.0	1.05	【前回評価からの変更概要】 用地取得手続き難航による工期延長 物件調査、残土処分場の変更による 事業費増額
第4回審議 (R6年度)	再評価後変更 (工期・事業費)	H20	R8	56.0	1.03	【前回評価からの変更概要】 時効取得手続き遅延による工期延長 既設橋梁等の撤去工法の変更による 事業費増額 支障埋設物撤去による事業費増額

2

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

◆目的

栄上拡幅は、一般国道499号における延長約1.3kmの2車線区間であり、渋滞解消および歩行者等の安全確保を目的としている。

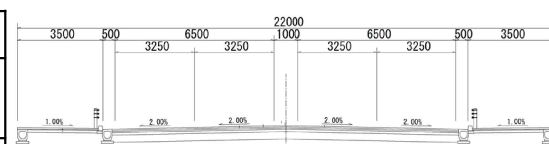
◆事業概要

計画延長等	L=1.30km
幅員	W=13.0(22.0)m
計画交通量 (R22)	12,574台/日

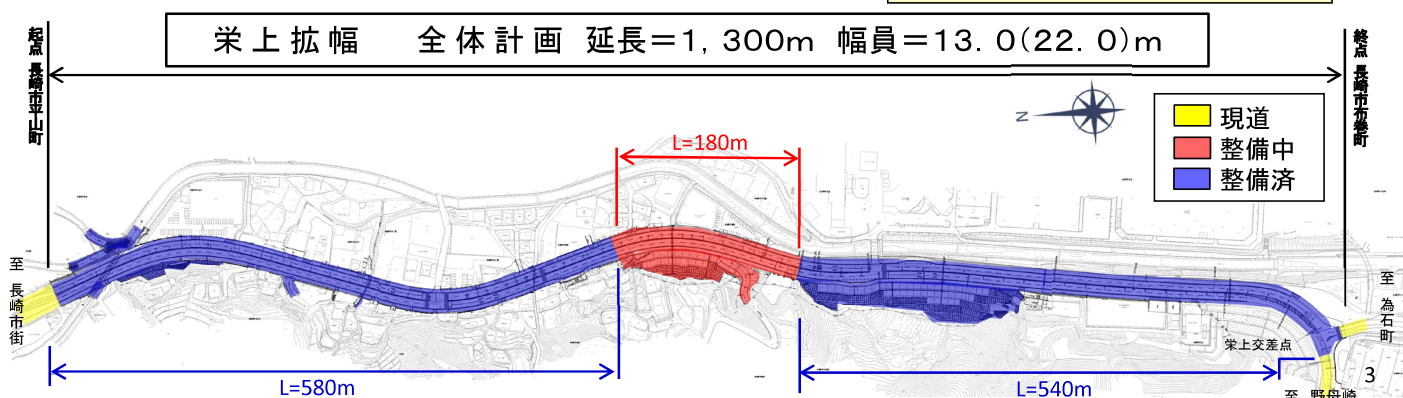
◆事業経過

平成20年度	事業化
平成21年度 平成22年度	用地買収着手 工事着手
令和5年度 末現在	約540m暫定供用 約580m4車線供用

◆標準断面



【R6.3月末現在】
事業進捗率 91%(事業費ベース)
用地進捗率 92%(面積ベース)



3. 事業の効果・必要性

<渋滞の解消>

県道深堀三和線の合流による交通容量の不足から渋滞が発生しており、円滑な車両通行が確保されていない。栄上工区北側の竿ノ浦工区は4車線化供用済であり、本工程の整備により国道499号の更なる渋滞解消が図られる。

<歩行者の安全確保>

現道は、歩道が狭小かつ一部未整備であり、歩行者の安全が確保されていない。本工程の整備により安全な歩道空間の確保が図られる。

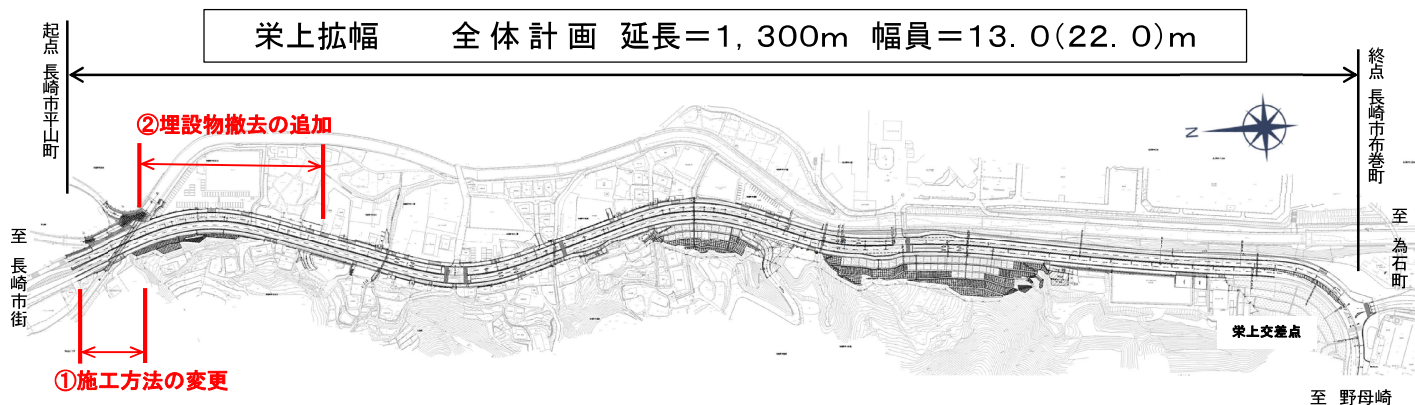


4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

【事業費増】

53.0億円(前回)
⇒56.0億円(今回)

事業費増の内容	増額	主な内容
①施工方法の変更	約2.4億円	既設橋梁、既設護岸の撤去に騒音対策工法(ワイヤーソー)を使用、仮設足場の設置による工事費の増
②埋設物撤去の追加	約0.3億円	埋設していたコンクリート埋設物の撤去費及び処分費の追加
③資材単価等の上昇	約0.3億円	労務・資材単価等の上昇(R4→R6増額分)
計	約3.0億円	

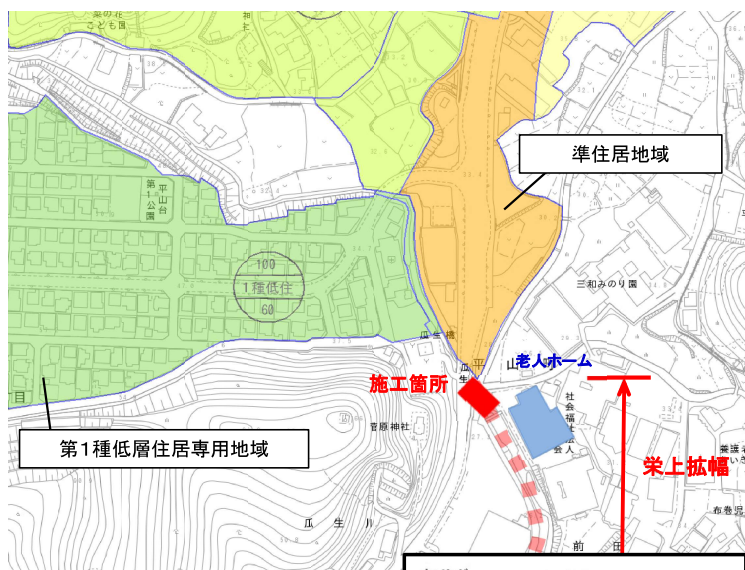


5

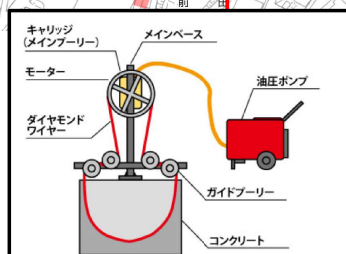
4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

①工事内容の変更【2.0億円の増額】

・既設橋梁、既設護岸の撤去到騒音対策工法(ワイヤーソー)を使用



長崎市用途地域図(抜粋)



コンクリート破砕機を使用したところ、住宅地の自治会より騒音対策の要望が出された。
また、近隣に老人ホームが位置している。



騒音対策に適している「ワイヤーソー」を使用【増額】



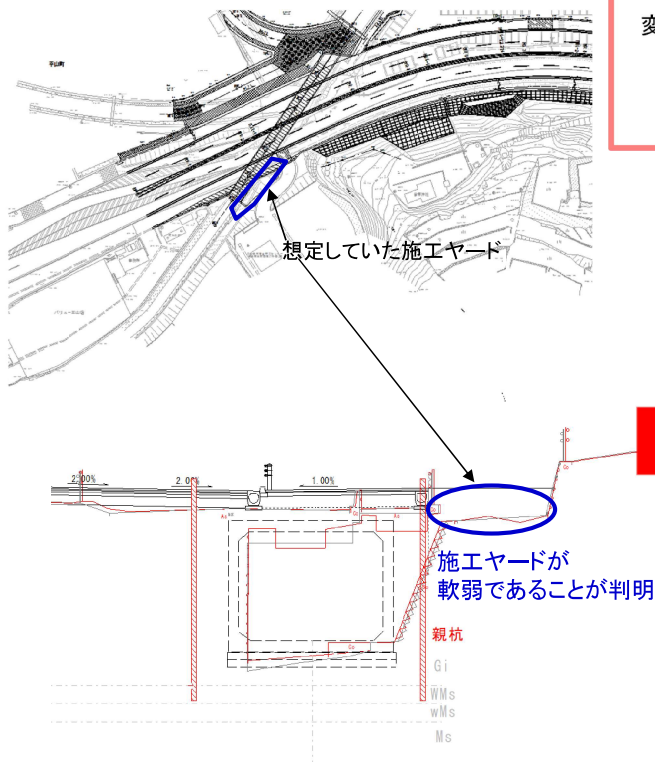
ワイヤーソー施工状況

6

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

①工事内容の変更【0.4億円の増額】

- ・仮設足場の設置による工事費の増



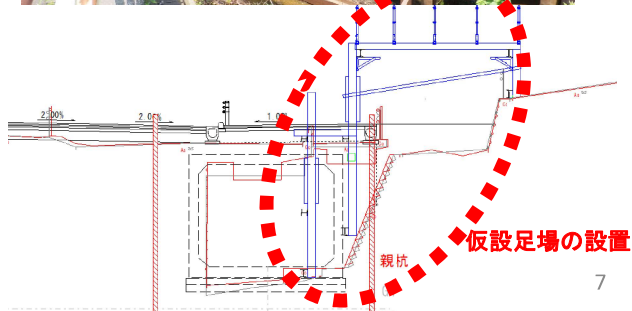
当初:土留め工の親杭(H型鋼)設置の際、傾斜地を造成し、施工ヤードを設ける計画であった。

変更:想定していた施工ヤードの土質が悪く、大口径ボーリングマシンの施工が困難であることが判明した。

仮設足場の設置が必要になった



仮設足場設置状況



7

4. 事業の進捗状況(事業費の見直し)

②埋設物撤去の追加【0.3億円の増額】

掘削工を施工した結果、支障となるコンクリート構造物の埋設を確認。

構造物の設置や舗装工に支障となる。

取壊し・撤去【増額】



埋設物の状況①



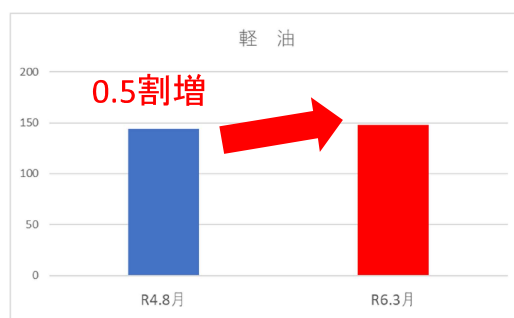
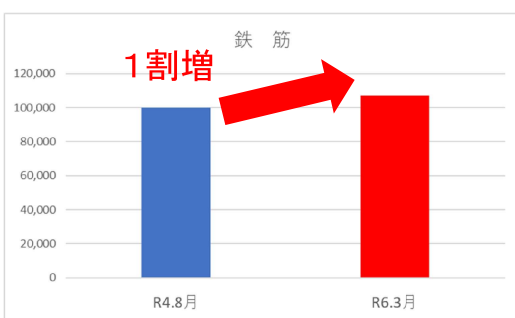
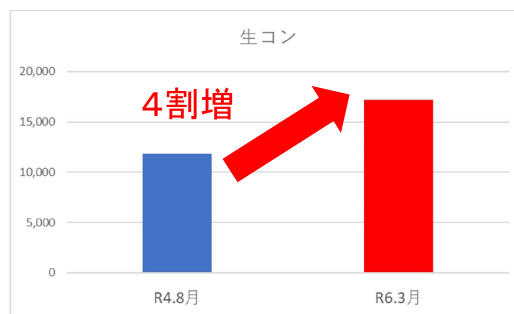
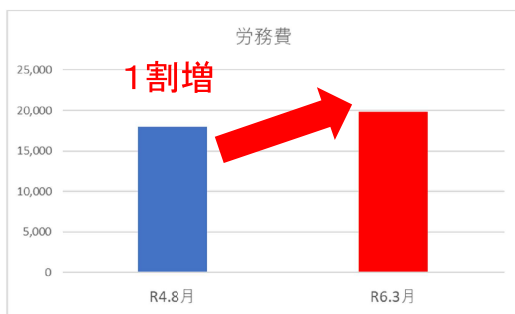
埋設物の状況②

8

4. 事業の進捗状況(事業費の増加)

③資材単価等の上昇(R4→R6増額分)【0.3億円の増額】

※R4.8月:前回再評価時
R6.3月:本資料作成時

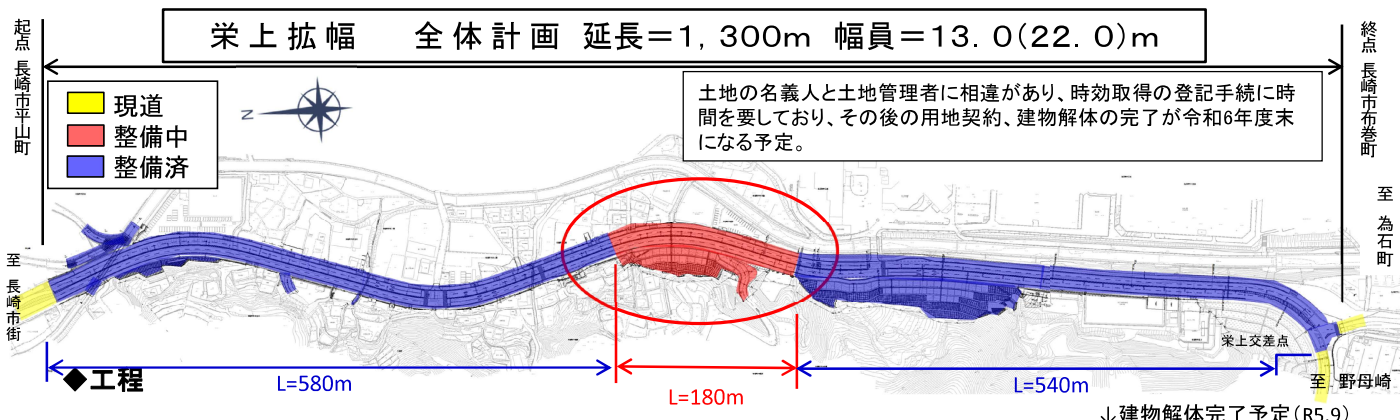


9

4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R7(前回) → R8(今回)

□ 用地取得において、地権者の時効取得手続きに日数を要している。



前回

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
測量・地質調査																		
道路設計																		
用地補償交渉																		
工事																		

変更

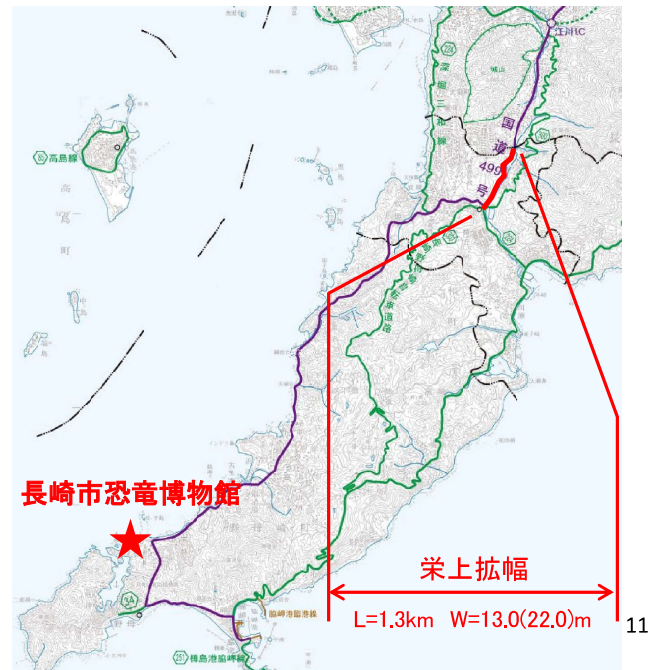
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量・地質調査																			
道路設計																			
用地補償交渉																			
工事																			

↓建物解体完了予定
(R7.3)

10

5. 社会経済情勢等の変化

- ・ 長崎市恐竜博物館(長崎市野母町)は、令和3年10月29日にオープンした。
- ・ オープン直後は「新型コロナウイルス感染症」の影響により事前予約制となっていたが、令和5年5月8日の新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に先立ち、令和5年3月11日に個人の事前予約制は撤廃された。
- ・ これにより、長崎市恐竜博物館の利用者数の増加が見込まれる。(年間で最も多い8月の利用者数を、令和4年・令和5年で比べてみると、令和4年:23,355人⇒令和5年:41,925人 <約1.8倍>)



6. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和4年度)	今回評価 (令和6年度)
残事業	2.48 = 33.62億円 / 13.57億円	2.50 = 12.14億円 / 4.86億円
全事業	1.05 = 70.38億円 / 67.24億円	1.03 = 79.65億円 / 77.58億円

〔費用〕

- ・ 道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

〔便益〕

- ・ 走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益

〔プラス要因〕

- ・ 特になし

〔マイナス要因〕

- ・ 事業費の増
- ・ 事業期間の延長

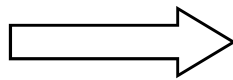
◆ B/Cでは計測できない効果

- ・ 緊急輸送道路の防災機能強化

7. 対応方針(原案)

- ◆ 国道499号における延長約1.3kmの2車線区間であり、渋滞解消および歩行者等の安全確保に寄与する事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで約91%[51.0億円/56.0億円]であり、用地進捗率は面積ベースで約92%となっている。(令和6年3月末現在)
- ◆ 「長崎市」および「一般国道499号道路整備促進協議会」から整備促進の要望が行われている。
- ◆ 事業費の増額、期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

対応方針
(原案)



継続

